

当提案を受け、政府「日本再興戦略」内へ
当MICE誘致が盛り込まれた。

取扱注意書類

平成 25 年 5 月 20 日

安倍 晋三 内閣総理大臣 殿

提言書

『日本の確固たる経済成長に向け、
アジア核の経済ダイナミズムを導入・発信するための、
国際コンベンション複合施設の導入』を提言します

私どもは、日本の産業復興・経済再生のために「復興特区制度の法制化提言」(2011年)を行い、今回 安倍総理に向け、「自動車新産業特区」及び 確固たる経済成長のための、海外から日本への『国際コンベンション複合施設の導入』の実現に向けた提案を行います。

日本の経済成長に向け、アジアの経済ダイナミズムを取り込む構造を有することは、最も重要であると考えます。

この経済ダイナミズムを取り込み、また日本からビジネスモデルを輸出するために、日本に世界のゲートウェイと呼ばれるような、質・量・アクティビティをともに持ち得るコンベンション複合施設(MICE事業)が必要であると考えます。

この必要性については、安倍総理 自らが唱えておられます。

世界のゲートウェイ、アジアのヘッドクォーターと称される、シンガポールの国際コンベンション施設 Suntec City /Convention が、近く 開設より 20 周年を迎えます。

私たちは、ビジネス・パートナーである 同施設の CEO を通じ、20 周年を記念して、同施設のファンド投資等を利用しながら、同コンベンションの日本への導入検討を進めています。

御存知の通り、当コンベンションは、WTO 閣僚会議(1996年)に始まり、APEC、IMF、TPP 国際会議など、世界を牽引するダイナミズムの発祥元となっています。

日本へ導入し、日本の独創力、技術力、開発力、エンターテインメント力 によってさらに洗練化させることで、世界で唯一の、未来をも切り開くことのできるコンベンションとなるでしょう。

また、日本が TPP を含め、国際アリーナに参画していくために、日本の経済柱である「自動車(日本自動車工業会 他)、機械、電機、農林水産、科学技術、医療、金融、サービス産業 等」が アジア核 経済ダイナミズムを取り入れ、双方向のビジネスを行うための、強い拠りどころとなるでしょう。

実現のためには、多くの活動が必要となりますが、何より 日本の国家プロジェクトづくりのひとつでもあろう、この国際コンベンション導入と運営を成功させるために、各種の規制緩和、インセンティブづくりが必要とされます。

この計画進行を、安倍政権の経済再生戦略への牽引プロジェクトとして盛り込むことを提案致します。

平成 25 年 5 月 20 日

提言者： 「超党派政策会合」(超党派の国会議員からなる政策会合)

－ 産業復興・国家プロジェクトづくり政策会合 編

顧問： 石原 信雄 元官房副長官
幹事： 鈴木 浩二 総合プロデューサー

[日本へのシンガポール国際コンベンション(Suntec City /Convention)の導入、開設に向けて]

「超党派による国家プロジェクトづくり政策会合」第四回会合
(2013年5月15日)において、
当プロジェクトの日本への導入に向けた交渉経過を報告。(会合幹事・鈴木)
石原信雄 顧問より、産業競争力会議 及び安倍総理への提言を推奨。

安倍総理に向けて――

『日本の確固たる経済成長に向け、アジア核の経済ダイナミズムを導入・発信するための、
国際コンベンション複合施設の導入提言』を行いたい。

――シンガポールの国際コンベンション、Suntec City /Convention の開設 20周年を記念しての
ファンド移設による開設を検討。

――当コンベンションの導入実現に向け、日本での開設と運営上に必要となる、規制緩和項目、
インセンティブ提供 等の政府サポートを得たい。

(シンガポール政府が当コンベンションの運営に提供するインセンティブ等に準じた内容。)

1■ シンガポールの国際コンベンション Suntec City /Convention は、1995年に開設された。
当コンベンションは、「世界・アジアのゲートウェイ」、「世界・アジアのヘッドクォーター」とも呼
ばれてきた。「MICE」という言葉を産み出し、先駆けとなった複合施設。

アジアを核とする世界の経済ダイナミズムの発祥元となっており、開設を機会に、第一回 WTO
閣僚会議(1996年)を開催。

以後、IMF、APEC、ASEAN、TPP 等の国際会議の開催や、国際機関の事務局が入居し、また
ビジネスを牽引する国際会議、エキシビション等が行われている。

2■ 当 Suntec 複合施設は、

―世界最大規模のコンベンション施設、

―世界経済をけん引する本社群(ヘッドクォーター)が入る5棟の高層オフィスビル群、

―世界の技術開発を牽引するR&D施設群、

―世界中の経営者、ビジネスマン、技術者、研究者が集い、その場で仕事と生活のサポートが
できるサービス施設群、

―当コンベンション・シティの利用者のみでなく、海外からの観光客も多く訪れる、世界最大規
模の商業モール

からなる。

(700社の法人が入居/15,000万人の就業者/年間2千万人を超えるビジター/1日に1万
台が駐車場を利用。)

3■ Suntec City は、シンガポールのリー・クアンユー元首相が、当時よりアジア経済をけん引す
る英国系香港財閥オーナー10人に声を掛け、シンガポールへ同財閥群のファンドを移して開発
された。

シンガポールは、この Suntec City /Convention を中核に据えることで、世界の中枢としての経済
発展を成し遂げることができたとも言われている。

4■ Suntec City はこの開設より20周年を迎え、これを記念しての日本へのファンド移設による
開設の可能性を、当ファンドのCEOへ打診(当方・鈴木)。同CEOより強い関心と可能性が示
され、7月中旬にシンガポールにて当コンベンションのCEOとシェアホルダーたちとの間で交
渉・打合せを行い、日本への導入計画を進めることで合意した。

5■ 日本の経済成長のために、直近では日本において「アジアのゲートウェイ」、「ヘッドクォー
ター」とも呼べる大規模コンベンション複合施設を、海外からの投資として求めたい旨を、
安倍総理、猪瀬知事が、ともに述べている。